

事務事業評価調書

事務事業名	川面下水処理場・水処理事業(下水道特別会計)				
担当部名	下水道部	室課名	水再生室	室課長名	井上 宏之

1 事務事業の概要

(1) 事業開始年度	昭和39年度	改正内容	・水再生室の組織改正 ・遠方監視システムの導入																	
(2) 直近の改正	平成17年度																			
(3) 根拠法令等	下水道法、廃棄物の処理及び清掃に関する法律、水質汚濁防止法等																			
(4) 市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし(国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)																	
	一部にチェックした場合はその説明																			
(5) 総合計画の体系	章	06	安全で魅力的なまちづくり	節	02	細節	70													
(6) 目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input checked="" type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input type="checkbox"/> その他															
	範囲等	川面下水処理場へ流入する下水(汚水及び雨水)																		
	目標 (どういう状態にしたいのか)	・汚水については、下水中の汚濁物を処理し公共用水域の水質保安を図る。 ・雨水については、浸水被害を防止するため、雨水排除を行う。																		
	結果 (どのような効果が得られるのか)	水環境及び生活環境が向上する。																		
(7) 事業概要	川面下水処理場へ流入する汚水を活性汚泥法により処理し、神崎川に放流している。処理過程で発生する汚泥については、南吹田下水処理場に圧送している。 処理場内の貯水能力、処理能力を超える雨水については、夾雑物の除去等の簡易な処理を行い、浸水被害を防止するため、速やかに神崎川に排除する。 【平成29年度より企業会計に移行】																			
(8) H28事業別予算コード	会計	03	款	01	項	01	目	03	大	事	業	02	中	事	業	01	小	事	業	01
(9) 事業費と財源の内訳	項目		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)		平成29年度 (2017年度)													
			予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)													
	事業費(A)		184,224	163,642	172,873	163,673	0													
	人件費	職員数	9.00	9.00	9.00	9.00	0.00													
		総額(B)	71,604	68,292	71,388	70,480	0													
	総事業費(A+B)		255,828	231,934	244,261	234,153	0													
	特定財源(C)		198,701	178,095	189,395	234,153	0													
	(内訳)	国	0	0	0	0	0													
		府	0	0	0	0	0													
		その他	198,701	178,095	189,395	234,153	0													
	市負担(D)		57,127	53,839	54,866	0	0													
	(内訳)	地方債	0	0	0	0	0													
		その他	57,127	53,839	54,866	0	0													
一般財源		0	0	0	0	0														
財源計(C+D)		255,828	231,934	244,261	234,153	0														
(10) 実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input type="checkbox"/> 直接実施																			
	<input checked="" type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	① 日本メンテナンスエンジニアリング株式会社																	
			②																	
			③																	
	主な委託内容		遠方監視運転操作・水処理施設維持管理業務																	
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①																		
		②																		
		③																		
<input type="checkbox"/> その他	内容																			

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	平成29年度 (2017年度)
(1) 活動指標	①	指標内容 高級処理水量	目標値	(単位: m ³)	7,474,220.00	7,377,930.00	0.00
			実績値	(単位: m ³)	6,066,194.00	6,069,835.00	/
		達成度(%)		81.2	82.3		
	目標値の積算方法 流入水量	単位当たりコスト	総事業費(単位: 千円)	0.04	0.04		
			一般財源(単位: 千円)	0.00	0.00		
	(2) 成果指標	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00
実績値				(単位:)	0.00	0.00	/
達成度(%)			0.0	0.0			
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位: 千円)	0.00	0.00		
			一般財源(単位: 千円)	0.00	0.00		
(3) が困難な場合		①	指標内容 法令に係る排水基準を下回る処理水量	目標値	(単位: m ³)	6,066,194.00	6,069,835.00
	実績値			(単位: m ³)	6,066,194.00	6,069,835.00	/
	達成度(%)		100.0	100.0			
	目標値の積算方法 排水基準値を下回っている高級処理水量	単位当たりコスト	総事業費(単位: 千円)	0.04	0.04		
			一般財源(単位: 千円)	0.00	0.00		
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00
実績値			(単位:)	0.00	0.00	/	
達成度(%)		0.0	0.0				
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位: 千円)	0.00	0.00		
	一般財源(単位: 千円)		0.00	0.00			
①	活動内容				目標		
	②	成果内容				達成状況	
(4) 総合評価	今後の方向性 (実施計画)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定					
	評価の説明	各処理場及びポンプ場の遠方監視システムを活用して、業務委託の一元管理を実施するなど、経費節減、事務の簡素化等、効率的に実施している。 また、放流水質向上のために現有施設において、雨天時活性汚泥法等の運用を行い、さらに効率的な運営を進めていくことで、事業の継続を図っていく。 なお、下水道事業は平成29年度から地方公営企業法の一部(財務規定等)を適用し、企業会計に移行した。これに伴う予算の再編等により、事務事業評価の継続性を確保できないため、平成29年度に係る記載欄については記載なしとしている。					

事務事業分析シート

所属名	水再生室	事業名	川面下水処理場・水処理事業(下水道特別会計)	事業区分	内部管理
事務事業番号	00778				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】 ※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	18	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 b. 市が関与すべき事業であるが、その範囲や担い手には民間委託など検討の余地がある。(3点)	3	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 a. 客観的なデータで市民ニーズが高いことを把握している。(5点)	5	点
(2) 有効性 (20点)	20	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 a. 活動指標や有効指標には、他市との比較も可能な、それぞれ別の定量的な指標設定をしている。(5点)	5	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
(3) 効率性 (20点)	18	①単位当たりコストは適正ですか。 b. 単位当たりコストは概ね適正であるが、改善の余地がある。(3点)	3	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 a. 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
(4) 公平性 (20点)	0	①サービスの対象範囲は適正ですか。 内部管理		点
		②サービスの水準は適正ですか。 内部管理		点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 内部管理		点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 内部管理		点
(5) 持続可能性 (20点)	20	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができそうですか。 a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点
評価点合計 (100点満点)	95	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	水再生室	事務事業番号	00778
-----	------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input checked="" type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果	<p>The radar chart displays the following scores for each category: 妥当性 (20), 有効性 (15), 効率性 (10), 公平性 (5), and 持続可能性 (5). The scale ranges from 0 to 20 in increments of 5.</p>		
(3)現状分析	<p>妥当性・有効性・効率性については、浸水被害の防止・公共用水域の水質保全を図ると共に現況の設備で効率的な運用が出来ている。持続可能性については、耐用年数が大幅に過ぎた設備の多い中、計画的な運用を行うためにも、長寿命化計画のもとで順次改築・更新を実施し、他の設備等についても延命化に向けた効果的な保守点検に取り組んでいる。</p> <p>また、省エネルギーを実践すると共に、ますます厳しくなる水質基準に対応する施設・設備の更新・増強が必要である。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

下水道事業は平成29年度から地方公営企業法の一部(財務規定等)を適用し、企業会計に移行した。

事務事業評価調書

事務事業名	南吹田下水処理場・水処理事業(下水道特別会計)				
担当部名	下水道部	室課名	水再生室	室課長名	井上 宏之

1 事務事業の概要

(1) 事業開始年度	昭和43年度	改正内容	・水再生室の組織改正 ・遠方監視システムの導入											
(2) 直近の改正	平成17年度													
(3) 根拠法令等	下水道法、廃棄物の処理及び清掃に関する法律、水質汚濁防止法													
(4) 市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乗せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし(国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
	一部にチェックした場合はその説明													
(5) 総合計画の体系	章	06	安全で魅力的なまちづくり	節	02	細節	70							
(6) 目的	対象(誰を、何を)	区分	<input checked="" type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input type="checkbox"/> その他									
		範囲等	南吹田処理区域内の下水(汚水及び雨水)											
	目標(どういう状態にしたいのか)	・汚水については、下水中の汚濁物を処理し、公共用水域の水質保全を図る。 ・雨水については、浸水被害を防止するため、雨水排除を行う。												
	結果(どのような効果が得られるのか)	水環境及び生活環境が向上する。												
(7) 事業概要	汚水については、活性汚泥法により処理し、神崎川に放流している。 雨水については、夾雑物の除去等、簡易な処理を行い、浸水被害を防止するため、速やかに神崎川に排除する。 【平成29年度より企業会計に移行】													
(8) H28事業別予算コード	会計	03	款	01	項	01	目	04	大事業	02	中事業	01	小事業	01
(9) 事業費と財源の内訳	項目		平成27年度(2015年度)		平成28年度(2016年度)		平成29年度(2017年度)							
			予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
	事業費(A)		430,784	395,712	422,985	389,985	0							
	人件費	職員数	人	11.00	11.00	11.00	11.00	0.00						
		総額(B)	千円	87,516	83,468	87,252	86,142	0						
	総事業費(A+B)		518,300	479,180	510,237	476,127	0							
	特定財源(C)		444,152	390,783	439,001	476,127	0							
	(内訳)	国		0	0	0	0	0						
		府		0	0	0	0	0						
		その他		444,152	390,783	439,001	476,127	0						
	市負担(D)		74,148	88,397	71,236	0	0							
	(内訳)	地方債		0	0	0	0	0						
		その他		74,148	88,397	71,236	0	0						
		一般財源		0	0	0	0	0						
財源計(C+D)		518,300	479,180	510,237	476,127	0								
(10) 実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input type="checkbox"/> 直接実施													
	<input checked="" type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	① 日本メンテナンスエンジニアリング株式会社											
			②											
			③											
	主な委託内容		運転操作業務、水処理施設維持管理業務											
	<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①											
②														
③														
<input type="checkbox"/> その他	内容													

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	平成29年度 (2017年度)			
(1) 活動指標	①	高級処理水量	指標内容	目標値	(単位:m3)	20,352,680.00	20,042,820.00	0.00		
			実績値	(単位:m3)	20,555,633.00	20,078,927.00				
			達成度(%)		101.0	100.2				
	②	流入水量	目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.02	0.02		
					一般財源(単位:千円)		0.00	0.00		
					達成度(%)		0.0	0.0		
	(2) 成果指標	①	法令に係わる排水基準を下回る処理水量	指標内容	目標値	(単位:m3)	20,555,633.00	20,078,927.00	0.00	
				実績値	(単位:m3)	20,555,633.00	20,078,927.00			
				達成度(%)		100.0	100.0			
		②	排水基準値を下回っている高級処理水量	目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.02	0.02	
一般財源(単位:千円)							0.00	0.00		
達成度(%)						0.0	0.0			
(3) が困難な場合		①	活動内容	目標						
				②	成果内容	達成状況				
						達成状況				
		達成状況								
	(4) 総合評価	今後の方向性 (実施計画)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定							
		評価の説明	<p>各処理場及びポンプ場の遠方監視システムを活用して、業務委託の一元管理を実施するなど、経費節減、事務の簡素化等、効果的に実施している。</p> <p>また、放流水質向上のため、現有施設において、高度処理施設や雨天時活性汚泥法等の運用を行い、放流水質の改善を図っている。さらに、効率的な運営を進めていくことで、事業の継続を図っていく。</p> <p>なお、下水道事業は平成29年度から地方公営企業法の一部(財務規定等)を適用し、企業会計に移行した。これに伴う予算の再編等により、事務事業評価の継続性を確保できないため、平成29年度に係る記載欄については記載なしとしている。</p>							

事務事業分析シート

所属名	水再生室	事業名	南吹田下水処理場・水処理事業(下水道特別会計)	事業区分	内部管理
事務事業番号	00779				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】 ※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	18	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 b. 市が関与すべき事業であるが、その範囲や担い手には民間委託など検討の余地がある。(3点)	3	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 a. 客観的なデータで市民ニーズが高いことを把握している。(5点)	5	点
(2) 有効性 (20点)	20	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 a. 活動指標や有効指標には、他市との比較も可能な、それぞれ別の定量的な指標設定をしている。(5点)	5	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
(3) 効率性 (20点)	18	①単位当たりコストは適正ですか。 b. 単位当たりコストは概ね適正であるが、改善の余地がある。(3点)	3	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 a. 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
(4) 公平性 (20点)	0	①サービスの対象範囲は適正ですか。 内部管理		点
		②サービスの水準は適正ですか。 内部管理		点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 内部管理		点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 内部管理		点
(5) 持続可能性 (20点)	20	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができそうですか。 a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点
評価点合計 (100点満点)	95	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	水再生室	事務事業番号	00779
-----	------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input checked="" type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果	<p>The radar chart displays five dimensions: 妥当性 (top), 有効性 (right), 効率性 (bottom right), 公平性 (bottom left), and 持続可能性 (left). The scale ranges from 0 to 20. The scores are approximately: 妥当性: 18, 有効性: 15, 効率性: 10, 公平性: 5, 持続可能性: 10.</p>		
(3)現状分析	<p>妥当性・有効性・効率性については、浸水被害の防止・公共用水域の水質保全を図ると共に、現況の設備で適正な運用が出来ている。持続可能性については、耐用年数が大幅に過ぎた設備の多い中、計画的な運用を行うためにも、長寿命化計画のもとで順次改築・更新を実施し、他の設備等についても延命化に向けた効果的な保守点検に取り組んでいる。</p> <p>また、省エネルギーを実践すると共に、ますます厳しくなる水質基準に対応する施設・設備の更新・増強が必要である。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

下水道事業は平成29年度から地方公営企業法の一部(財務規定等)を適用し、企業会計に移行した。

事務事業評価調書

事務事業名	南吹田下水処理場汚泥処理事業(下水道特別会計)				
担当部署	下水道部	室課名	水再生室	室課長名	井上 宏之

1 事務事業の概要

(1) 事業開始年度	昭和46年度	改正内容	・水再生室の組織改正 ・遠方監視システムの導入 ・焼却炉の廃止及び汚泥脱水方法の変更																	
(2) 直近の改正	平成22年度																			
(3) 根拠法令等	下水道法、廃棄物の処理及び清掃に関する法律、水質汚濁防止法																			
(4) 市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乗せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし(国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)																	
	一部にチェックした場合はその説明																			
(5) 総合計画の体系	章	06	安全で魅力的なまちづくり	節	02	細節	70													
(6) 目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input checked="" type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input type="checkbox"/> その他															
		範囲等	南吹田・川面処理区内の下水処理過程で発生する汚泥等																	
	目標 (どういう状態にしたいのか)	汚泥などを適正に処理処分する。																		
	結果 (どのような効果が得られるのか)	生活環境が向上する。																		
(7) 事業概要	南吹田処理区内の水処理過程で発生する汚泥及び川面下水処理場から圧送される汚泥を脱水した後、脱水ケーキとして搬出し、委託業者でコンポスト化及びセメント化を行い、再利用している。 【平成29年度より企業会計に移行】																			
(8) H28事業別 予算コード	会計	03	款	01	項	01	目	04	大	事	業	02	中	事	業	01	小	事	業	02
(9) 事業費と 財源の内訳	項 目		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)		平成29年度 (2017年度)													
			予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)													
	事業費(A)		521,559	451,441	510,522	427,222	0													
	人件費	職員数	人	5.00	5.00	5.00	5.00	0.00												
		総額(B)	千円	39,780	37,940	39,660	39,156	0												
	総事業費(A+B)		561,339	489,381	550,182	466,378	0													
	特定財源(C)		471,409	387,409	464,068	466,378	0													
	(内訳)	国		0	0	0	0	0												
		府		0	0	0	0	0												
		その他		471,409	387,409	464,068	466,378	0												
	市負担(D)		89,930	101,972	86,114	0	0													
	(内訳)	地方債		0	0	0	0	0												
		その他		89,930	101,972	86,114	0	0												
		一般財源		0	0	0	0	0												
財源計(C+D)		561,339	489,381	550,182	466,378	0														
(10) 実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input type="checkbox"/> 直接実施																			
	<input checked="" type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	① 日本メンテナンスエンジニアリング株式会社																	
			② クリーン発酵株式会社																	
	<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	③ 太平洋セメント株式会社																	
			①																	
<input type="checkbox"/> その他	内容	②																		
		③																		
主な委託内容		遠方監視運転操作業務/コンポスト化業務等																		

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	平成29年度 (2017年度)	
(1) 活動指標	①	汚泥脱水量	指標内容	目標値	(単位: DSKg)	3,437,647.20	3,617,614.00	0.00
			実績値	(単位: DSKg)	3,576,520.80	3,441,377.73		
			達成度(%)		104.0	95.1		
		目標値の積算方法	乾燥固形物	単位当たりコスト	総事業費(単位: 千円)	0.14	0.14	
				一般財源(単位: 千円)	0.00	0.00		
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00	
			実績値	(単位:)	0.00	0.00		
			達成度(%)		0.0	0.0		
		目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位: 千円)	0.00	0.00	
				一般財源(単位: 千円)	0.00	0.00		
(2) 成果指標	①	汚泥処分量	指標内容	目標値	(単位: DSKg)	3,576,520.80	3,441,377.73	0.00
			実績値	(単位: DSKg)	3,576,520.80	3,441,377.73		
			達成度(%)		100.0	100.0		
		目標値の積算方法	有効利用量	単位当たりコスト	総事業費(単位: 千円)	0.14	0.14	
				一般財源(単位: 千円)	0.00	0.00		
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00	
			実績値	(単位:)	0.00	0.00		
			達成度(%)		0.0	0.0		
		目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位: 千円)	0.00	0.00	
				一般財源(単位: 千円)	0.00	0.00		
(3) が困難な場合	①	活動内容				目標		
	②	成果内容				達成状況		
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定	
	評価の説明		<p>循環型社会の構築に向けて、脱水ケーキをコンポスト化とセメント化による有効化を図っている。今後もさらに効率的な運営を進めていくことで、事業の継続を行っていく。</p> <p>なお、下水道事業は平成29年度から地方公営企業法の一部(財務規定等)を適用し、企業会計に移行した。これに伴う予算の再編等により、事務事業評価の継続性を確保できないため、平成29年度に係る記載欄については記載なしとしている。</p>					

事務事業分析シート

所属名	水再生室	事業名	南吹田下水処理場汚泥処理事業(下水道特別会計)	事業区分	内部管理
事務事業番号	00780				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	18	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 b. 市が関与すべき事業であるが、その範囲や担い手には民間委託など検討の余地がある。(3点)	3	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 a. 客観的なデータで市民ニーズが高いことを把握している。(5点)	5	点
(2) 有効性 (20点)	20	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 a. 活動指標や有効指標には、他市との比較も可能な、それぞれ別の定量的な指標設定をしている。(5点)	5	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
(3) 効率性 (20点)	18	①単位当たりコストは適正ですか。 b. 単位当たりコストは概ね適正であるが、改善の余地がある。(3点)	3	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 a. 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
(4) 公平性 (20点)	0	①サービスの対象範囲は適正ですか。 内部管理		点
		②サービスの水準は適正ですか。 内部管理		点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 内部管理		点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 内部管理		点
(5) 持続可能性 (20点)	18	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 b. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準はやや高い。(3点)	3	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができそうですか。 a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点
評価点合計 (100点満点)	92	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	水再生室	事務事業番号	00780
-----	------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input checked="" type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>妥当性については、民間委託など検討の余地がある。有効性。効率性については、脱水ケーキをコンポスト化とセメント化により有効利用を進めている。持続可能性については、設備更新を進め、省エネを図りながら周辺環境に配慮し、事業を効率的に継続している。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

下水道事業は平成29年度から地方公営企業法の一部(財務規定等)を適用し、企業会計に移行した。

事務事業評価調書

事務事業名	川園ポンプ場管理事業(下水道特別会計)				
担当部署	下水道部	室課名	水再生室	室課長名	井上 宏之

1 事務事業の概要

(1) 事業開始年度	昭和43年度	改正内容	・水再生室の組織改正 ・遠方監視システムの導入											
(2) 直近の改正	平成17年度													
(3) 根拠法令等	下水道法、廃棄物の処理及び清掃に関する法律、水質汚濁防止法													
(4) 市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし(国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
	一部にチェックした場合はその説明													
(5) 総合計画の体系	章	06	安全で魅力的なまちづくり	節	02	細節	70							
(6) 目的	対象(誰を、何を)	区分	<input checked="" type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input type="checkbox"/> その他									
		範囲等	川園処理分区内の下水											
	目標(どういう状態にしたいのか)	・下水中の夾雑物等の除去を行い、川面下水処理場へ送水する。 ・浸水防除のための雨水排除をする。												
	結果(どのような効果が得られるのか)	水環境及び生活環境が向上する。												
(7) 事業概要	川園処理分区から流入する汚水の夾雑物等の除去を行い、川面下水処理場へ送水している。 また、川園ポンプ場の貯水能力・処理能力を超える雨水については、夾雑物の除去等を行い、浸水被害を防止するため、速やかに安威川に排除する。 【平成29年度より企業会計に移行】													
(8) H28事業別予算コード	会計	03	款	01	項	01	目	04	大事業	02	中事業	01	小事業	03
(9) 事業費と財源の内訳	項目		平成27年度(2015年度)		平成28年度(2016年度)		平成29年度(2017年度)							
			予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
	事業費(A)		107,665	83,337	93,290	82,190	0							
	人件費	職員数	1.00	1.00	1.00	1.00	0.00							
		総額(B)	7,956	7,588	7,932	7,832	0							
	総事業費(A+B)		115,621	90,925	101,222	90,022	0							
	特定財源(C)		81,515	67,428	77,728	90,022	0							
	(内訳)	国	0	0	0	0	0							
		府	0	0	0	0	0							
		その他	81,515	67,428	77,728	90,022	0							
	市負担(D)		34,106	23,497	23,494	0	0							
	(内訳)	地方債	0	0	0	0	0							
		その他	34,106	23,497	23,494	0	0							
		一般財源	0	0	0	0	0							
財源計(C+D)		115,621	90,925	101,222	90,022	0								
(10) 実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input type="checkbox"/> 直接実施													
	<input checked="" type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	① 日本メンテナンスエンジニアリング株式会社											
			②											
			③											
	主な委託内容		川園ポンプ場維持管理業務等											
	<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①											
②														
③														
<input type="checkbox"/> その他	内容													

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	平成29年度 (2017年度)
(1) 活動指標	①	川面送水量	指標値	(単位: m ³)	5,983,415.00	5,712,626.00	0.00
			実績値	(単位: m ³)	5,117,877.00	5,015,964.00	/
		達成度(%)		85.5	87.8		
		目録値の積算方法	流入水量	単位当たりコスト	総事業費(単位: 千円)	0.02	
	一般財源(単位: 千円)			0.00	0.00		
	②	指標内容	指標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00
			実績値	(単位:)	0.00	0.00	/
		達成度(%)		0.0	0.0		
		目録値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位: 千円)	0.00	
	一般財源(単位: 千円)			0.00	0.00		
(2) 成果指標	①	指標内容	指標値	(単位: 回)	23.00	23.00	0.00
			実績値	(単位: 回)	10.00	7.00	/
		達成度(%)		43.5	30.4		
		目録値の積算方法	未処理放流目標回数23回(代表降雨年時における雨水排水回数46回÷2) * 実績値は当該年時において、実際に削減できた回数	単位当たりコスト	総事業費(単位: 千円)	9,092.50	
	一般財源(単位: 千円)			0.00	0.00		
	②	指標内容	指標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00
			実績値	(単位:)	0.00	0.00	/
		達成度(%)		0.0	0.0		
		目録値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位: 千円)	0.00	
	一般財源(単位: 千円)			0.00	0.00		
(3) が困難な場合	①	活動内容			目標		
	②	成果内容			達成状況		
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定
	評価の説明		<p>各処理場及びポンプ場の遠方監視システムを活用して、業務委託の一元管理を実施するなど、経費節減、事務簡素化等、効率化を目指して取組み、一定の効果が得られた。</p> <p>今後も川面下水処理場への送水及び雨水排除を引き続き効果的に実施していく。</p> <p>なお、下水道事業は平成29年度から地方公営企業法の一部(財務規定等)を適用し、企業会計に移行した。これに伴う予算の再編等により、事務事業評価の継続性を確保できないため、平成29年度に係る記載欄については記載なしとしている。</p>				

事務事業分析シート

所属名	水再生室	事業名	川園ポンプ場管理事業(下水道特別会計)	事業区分	内部管理
事務事業番号	00781				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】 ※各設問5点満点	
(1) 妥当性 (20点)	18	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 b. 市が関与すべき事業であるが、その範囲や担い手には民間委託など検討の余地がある。(3点)	3 点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5 点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 a. 実施意義は今も増している。(5点)	5 点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 a. 客観的なデータで市民ニーズが高いことを把握している。(5点)	5 点
(2) 有効性 (20点)	20	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 a. 活動指標や有効指標には、他市との比較も可能な、それぞれ別の定量的な指標設定をしている。(5点)	5 点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5 点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5 点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5 点
(3) 効率性 (20点)	18	①単位当たりコストは適正ですか。 b. 単位当たりコストは概ね適正であるが、改善の余地がある。(3点)	3 点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5 点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5 点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 a. 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている。(5点)	5 点
(4) 公平性 (20点)	0	①サービスの対象範囲は適正ですか。 内部管理	点
		②サービスの水準は適正ですか。 内部管理	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 内部管理	点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 内部管理	点
(5) 持続可能性 (20点)	18	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5 点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5 点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 b. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準はやや高い。(3点)	3 点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができそうですか。 a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5 点
評価点合計 (100点満点)	92	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))	

所属名	水再生室	事務事業番号	00781
-----	------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input checked="" type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>妥当性・有効性・効率性については、浸水被害の防止・公共用水域の水質保全を図ると共に現況の設備で効率的な運用が出来ている。持続可能性については、耐用年数が大幅に過ぎた設備の多い中、計画的な運用を行うためにも、長寿命化計画のもとで順次改築・更新を実施し、他の設備等についても延命化に向けた効果的な保守点検に取り組んでいる。</p> <p>また、省エネルギーを実践すると共に、ますます厳しくなる水質基準に対応する施設・設備の更新が必要である。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

下水道事業は平成29年度から地方公営企業法の一部(財務規定等)を適用し、企業会計に移行した。

事務事業評価調書

事務事業名	水質管理指導事業(下水道特別会計)				
担当部名	下水道部	室課名	水再生室	室課長名	井上 宏之

1 事務事業の概要

(1) 事業開始年度	昭和49年度	改正 内容	条例の水質使用料の一部改正											
(2) 直近の改正	平成25年度													
(3) 根拠法令等	下水道法、吹田市下水道条例													
(4) 市単独事業区分	<input type="checkbox"/> 全部	<input checked="" type="checkbox"/> 一部(上乗せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし(国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
	一部にチェックした場合はその説明		除害施設の設置等に係る水質基準											
(5) 総合計画の体系	章	06	安全で魅力的なまちづくり	節	02	細節	70							
(6) 目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input checked="" type="checkbox"/> その他									
		範囲等	公共下水道を使用する事業場											
	目標 (どうい状態にしたいのか)	水質基準違反の排水を出す事業場をなくす。												
	結果 (どのような効果が得られるのか)	下水処理場の処理機能の維持及び放流水を良好に保つ。												
(7) 事業概要	法令に基づく届出審査と規制対象事業場への立入、採水、指導を通して当該事業場からの排水を適正な状態に保つ。 【平成29年度より企業会計に移行】													
(8) H28事業別 予算コード	会計	03	款	01	項	01	目	05	大事業	02	中事業	01	小事業	01
(9) 事業費と 財源の内訳	項目		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)		平成29年度 (2017年度)							
			予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
	事業費(A)		3,785	2,596	3,896	3,156	0							
	人件費	職員数	人	2.00	2.00	2.00	2.00	0.00						
		総額(B)	千円	15,912	15,176	15,864	15,662	0						
	総事業費(A+B)		19,697	17,772	19,760	18,818	0							
	特定財源(C)		15,912	15,176	15,864	18,818	0							
	(内訳)	国	0	0	0	0	0							
		府	0	0	0	0	0							
		その他	15,912	15,176	15,864	18,818	0							
	市負担(D)		3,785	2,596	3,896	0	0							
	(内訳)	地方債	0	0	0	0	0							
		その他	3,785	2,596	3,896	0	0							
		一般財源	0	0	0	0	0							
財源計(C+D)		19,697	17,772	19,760	18,818	0								
(10) 実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input type="checkbox"/> 直接実施													
	<input checked="" type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①	計量証明事業所										
			②											
			③											
		主な委託内容	有害物質等に係る水質検査											
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①												
		②												
		③												
<input type="checkbox"/> その他	内容													

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	平成29年度 (2017年度)	
(1) 活動指標	①	水質検査検体	指標内容	目標値 (単位:検体)	116.00	120.00	0.00	
			実績値 (単位:検体)	134.00	127.00			
			達成度(%)	115.5	105.8			
	②	年間計画予定検体数	目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	132.63	149.76	
					一般財源(単位:千円)	0.00	0.00	
					達成度(%)	0.0	0.0	
(2) 成果指標	①	基準適合事業場	指標内容	目標値 (単位:事業場)	62.00	63.00	0.00	
			実績値 (単位:事業場)	58.00	53.00			
			達成度(%)	93.5	84.1			
	②	立入検査計画のある事業場(実数)	目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	306.41	358.87	
					一般財源(単位:千円)	0.00	0.00	
					達成度(%)	0.0	0.0	
(3) が困難な場合	①	活動内容	指標内容	目標値 (単位:)	0.00	0.00	0.00	
			実績値 (単位:)	0.00	0.00			
			達成度(%)	0.0	0.0			
	②	成果内容	目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00	
					一般財源(単位:千円)	0.00	0.00	
					達成度(%)	0.0	0.0	
(4) 総合評価	①	活動内容			目標			
	②	成果内容			達成状況			
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定	
	評価の説明		<p>本事業は法定受託事務であり、届出審査により規制対象事業場の現況を把握し、立入検査を通じて、規制対象事業場を適正に指導していくことで目的が達成できると考えられるため、今後も継続して実施して行く必要がある。なお、下水道事業は平成29年度から地方公営企業法の一部(財務規定等)を適用し、企業会計に移行した。これに伴う予算の再編等により、事務事業評価の継続性を確保できないため、平成29年度に係る記載欄については記載なしとしている。</p>					

事務事業分析シート

所属名	水再生室	事業名	水質管理指導事業	事業区分	その他
事務事業番号	00782				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	16	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 b. 実施意義は今もある。(3点)	3	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3	点
		①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
(2) 有効性 (20点)	18	②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
		①単位当たりコストは適正ですか。 b. 単位当たりコストは概ね適正であるが、改善の余地がある。(3点)	3	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
(3) 効率性 (20点)	18	③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 a. 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
		①サービスの対象範囲は適正ですか。 b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3	点
		②サービスの水準は適正ですか。 a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点
(4) 公平性 (20点)	18	④公平性を確保するための取組みをしていますか。 a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点
		①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができそうですか。 a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点
(5) 持続可能性 (20点)	20	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができそうですか。 a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができそうですか。 a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点
評価点合計 (100点満点)	90	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	水再生室	事務事業番号	00782
-----	------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>妥当性・公平性・持続可能性については、本事業が法・条例に基づく規制業務であるため、他市においても同事業は実施され、事業費の水準も平均的である。</p> <p>効率性については、規制項目が増えて行く中、事業場に応じた分析項目を見直し、極力項目数を絞っている。さらに部内の類似する分析を一括して委託し、コスト削減に努めている。</p> <p>有効性については、本事業費のほとんどが、法・条例に基づく規制対象事業場への立入検査時の水質検査費用であるため、水質検査検体数を活動指標とし、成果指標を基準適合事業場数としている。実際に事業場の排水量や違反の程度によっては、下水処理場の処理機能停止に至るため、有効性があると判断している。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関係する特記事項)

<p>今後も下水道法や市条例の改正がある場合は、タイミングよく対象事業者にその内容をホームページや立入検査等を通じて情報発信していく必要がある。</p> <p>また、平成25年度より、特定施設関連の届出義務がある事業者に対して、開発事業事前協議承認申請時に周知文書を配布し、届出漏れが無いようにしている。</p> <p>下水道事業は平成29年度から地方公営企業法の一部(財務規定等)を適用し、企業会計に移行した。</p>
--

事務事業評価調書

事務事業名	下水処理場整備事業(下水道特別会計)				
担当部名	下水道部	室課名	水再生室	室課長名	井上 宏之

1 事務事業の概要

(1) 事業開始年度	不明	改正 内容	なし											
(2) 直近の改正	なし													
(3) 根拠法令等	下水道法、都市計画法													
(4) 市単独事業区分	<input type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乗せ、横出し等あり)	<input checked="" type="checkbox"/> なし (国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
	一部にチェックした場合はその説明													
(5) 総合計画の体系	章	06	安全で魅力的なまちづくり	節	02	細節	70							
(6) 目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input checked="" type="checkbox"/> 建設事業	<input type="checkbox"/> その他	範囲等 下水処理場で国土交通省が定めた標準耐用年数を経過し、機能劣化及び老朽化した施設・設備								
	目標 (どうい状態にしたいのか)	設備の更新等による機能回復及び省エネルギー化を図る												
	結果 (どのような効果が得られるのか)	下水処理場の処理機能の確保及び省エネルギー効果が得られる												
(7) 事業概要	下水処理場における施設・設備の建設及び改築更新 【平成29年度より企業会計に移行】													
(8) H28事業別 予算コード	会計	03	款	01	項	02	目	02	大事業	02	中事業	01	小事業	01
(9) 事業費と 財源の内訳	項目		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)		平成29年度 (2017年度)							
			予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
	事業費(A)		526,811	446,842	674,387	842,453	0							
	人件費	職員数	7.49	7.99	8.49	8.49	0.00							
		総額(B)	59,591	60,629	67,343	66,486	0							
	総事業費(A+B)		586,402	507,471	741,730	908,939	0							
	特定財源(C)		282,384	289,887	364,557	478,239	0							
	(内訳)	国	219,000	228,000	296,500	409,750	0							
		府	0	0	0	0	0							
		その他	63,384	61,887	68,057	68,489	0							
	市負担(D)		304,018	217,584	377,173	430,700	0							
	(内訳)	地方債	300,300	216,900	376,500	430,700	0							
		その他	3,718	684	673	0	0							
一般財源		0	0	0	0	0								
財源計(C+D)		586,402	507,471	741,730	908,939	0								
(10) 実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施													
	<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①											
			②											
			③											
	主な委託内容													
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①												
		②												
		③												
<input type="checkbox"/> その他		内容												

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	平成29年度 (2017年度)
(1) 活動指標	①	社会資本総合整備計画の国土交通省の同意、国庫補助金事業採択の内示を受け、交付金を活用した計画的な整備を図る	目標値	(単位:件)	9.00	15.00	/
			実績値	(単位:件)	8.00	12.00	
			達成度(%)		88.9	80.0	
	目標値の積算方法	当該年度発注予定本体工事件数を目標値とし、執行済工事件数を実績値として算出	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	63,433.88	75,816.33	
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	
実績値			(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)			0.0	0.0			
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
		一般財源(単位:千円)	0.00	0.00			
(2) 成果指標	①	社会資本総合整備計画の策定期間で、長寿命化計画に基づいた計画的な機器の改築更新を図る。	目標値	(単位:件)	27.00	27.00	/
			実績値	(単位:件)	7.00	15.00	
			達成度(%)		25.9	55.6	
	目標値の積算方法	社会資本総合整備計画の策定期間に改築更新すべき機器の件数を目標値とし、改築更新済機器の件数を実績値として算出	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	72,495.86	60,653.07	
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	
実績値			(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)			0.0	0.0			
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
		一般財源(単位:千円)	0.00	0.00			
(3) が困難な場合	①	活動内容			目標		
	②	成果内容			達成状況		
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定
	評価の説明		<p>社会基盤の一部である下水道の根幹をなす事業であり、水質改善や悪臭など生活・環境問題における市民ニーズも高く、市民生活には必要不可欠で継続すべき事業である。現在も、施設・設備の老朽化が懸念されており、事業費の増加が見込まれることから、策定済の長寿命化計画に基づき、計画的・効率的・効果的な改築・更新を推進し、施設機能の確保及び経費の軽減を図る必要があり、施設の地震対策について準備を進めており、今後も継続する必要がある。</p> <p>なお、下水道事業は平成29年度から地方公営企業法の一部(財務規定等)を適用し、企業会計に移行した。これに伴う予算の再編等により、事務事業評価の継続性を確保できないため、平成29年度に係る記載欄については記載なしとしている。</p>				

事務事業分析シート

所属名	水再生室	事業名	下水処理場整備事業(下水道特別会計)	事業区分	建設事業
事務事業番号	00783				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	20	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 a. 客観的なデータで市民ニーズが高いことを把握している。(5点)	5	点
(2) 有効性 (20点)	18	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
(3) 効率性 (20点)	18	①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 b. 迅速なサービス提供のための取組について検討している。(3点)	3	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 a. 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
(4) 公平性 (20点)	20	①サービスの対象範囲は適正ですか。 a. 不特定多数を対象としている。(5点)	5	点
		②サービスの水準は適正ですか。 a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点
(5) 持続可能性 (20点)	20	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができそうですか。 a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点
評価点合計 (100点満点)	96	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	水再生室	事務事業番号	00783
-----	------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input checked="" type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>妥当性及び公平性については、公共用水域の水質保全の観点から適正であり、有効性においても、排水基準を満たす放流水質を確保するために有効と考える。効率性については、関係部門とのさらなる連携を図ることで早期対応に努めている。持続可能性については、他市との事業規模が異なるため比較・分析が困難であるが、国の指針を基に積算業務等を遂行しており、全国的に見て平均的と考える。また、事業費については、施設・設備の老朽化問題が懸念されており、策定済の長寿命化計画に基く施設整備を行い、更新費用の平準化を図りながら事業を進めている。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関係する特記事項)

インフラ整備の老朽化問題に加え、近年の震災被害の状況などから、下水処理施設の地震対策について優先的な対策が求められている。なお、下水道事業は平成29年度から地方公営企業法の一部(財務規定等)を適用し、企業会計に移行した。

事務事業評価調書

事務事業名	下水処理場・ポンプ場設計支援システム事業(下水道特別会計)				
担当部署	下水道部	室課名	水再生室	室課長名	井上 宏之

1 事務事業の概要

(1) 事業開始年度	平成13年度	改正 内容	なし				
(2) 直近の改正	なし						
(3) 根拠法令等	下水道法、都市計画法						
(4) 市単独事業区分	<input type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乗せ、横出し等あり)	<input checked="" type="checkbox"/> なし (国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)				
	一部にチェックした場合はその説明						
(5) 総合計画の体系	章 06	安全で魅力的なまちづくり	節 02	細節 70			
(6) 目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input checked="" type="checkbox"/> 建設事業	<input type="checkbox"/> その他		
	目標 (どういう状態にしたいのか)	範囲等	下水処理場・ポンプ場の整備事業における事務処理				
	結果 (どのような効果が得られるのか)	各種データ(図面等を含む)の蓄積、管理及び効率的な利用。設計・積算事業の正確かつ効率的な処理。国費申請及び調書作成における国・府等の事務処理に適合させる。 吹田市の特性に合わせた効率的な事業計画の作成ができる。設計・積算業務の迅速化及び省力化に伴う人件費の節約が図れる。					
(7) 事業概要	下水処理場・ポンプ場整備事業における事務のシステム化及び電算化 【平成29年度より企業会計に移行】						
(8) H28事業別 予算コード	会計 03	款 01	項 02	目 02	大事業 03	中事業 01	小事業 01
(9) 事業費と 財源の内訳	項目		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)		平成29年度 (2017年度)
			予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)
	事業費(A)		384	213	356	231	0
	人件費	職員数	0.01	0.01	0.01	0.01	0.00
		総額(B)	80	76	80	79	0
	総事業費(A+B)		464	289	436	310	0
	特定財源(C)		274	179	263	310	0
	(内訳)	国	0	0	0	0	0
		府	0	0	0	0	0
		その他	274	179	263	310	0
	市負担(D)		190	110	173	0	0
	(内訳)	地方債	0	0	0	0	0
		その他	190	110	173	0	0
一般財源		0	0	0	0	0	
財源計(C+D)		464	289	436	310	0	
(10) 実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施						
	<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①				
			②				
			③				
	主な委託内容						
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①					
		②					
		③					
<input type="checkbox"/> その他	内容						

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	平成29年度 (2017年度)
(1) 活動指標	①	指標内容 水再生室のシステムが、国・府等のシステム・ソフトウェアに対応しているか、不具合がないかを随時確認し対応する。	目標値	(単位:本)	3.00	0.00	0.00
			実績値	(単位:本)	3.00	0.00	
			達成度(%)		100.0	0.0	
	②	目標値の積算方法 ソフトウェアの購入本数	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	96.33	0.00	0.00
				一般財源(単位:千円)	0.00	0.00	
			達成度(%)		0.0	0.0	
(2) 成果指標	①	指標内容 下水処理場・ポンプ場整備事業等の設計業務において、システムを利用することにより、効率的に行った設計業務。	目標値	(単位:件)	13.00	14.00	0.00
			実績値	(単位:件)	11.00	11.00	
			達成度(%)		84.6	78.6	
	②	目標値の積算方法 当該年度発注工事で、すべての設計業務を目標値とし、システムを利用した設計業務数を実績値として算出。	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	26.27	28.27	0.00
				一般財源(単位:千円)	0.00	0.00	
			達成度(%)		0.0	0.0	
(3) が困難な場合	①	活動内容			目標		
	②	成果内容			達成状況		
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定
	評価の説明		<p>単価改正や土木工事積算システム及びAutoCADの運用管理等、設計積算業務を行うためには必要不可欠な事業である。今後も、更なる事業の効率化を図るために、適正なシステム運用管理等を継続的に行っていく。</p> <p>なお、下水道事業は平成29年度から地方公営企業法の一部(財務規定等)を適用し、企業会計に移行した。これに伴う予算の再編等により、事務事業評価の継続性を確保できないため、平成29年度に係る記載欄については記載なしとしている。</p>				

事務事業分析シート

所属名	水再生室	事業名	下水処理場・ポンプ場設計支援システム(下水道特別会計)	事業区分	建設事業
事務事業番号	00785				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	18	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 b. 施策や政策課題の推進にとって、効果のある事業である。(3点)	3	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 a. 客観的なデータで市民ニーズが高いことを把握している。(5点)	5	点
(2) 有効性 (20点)	18	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
(3) 効率性 (20点)	18	①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 b. 迅速なサービス提供のための取組について検討している。(3点)	3	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 a. 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
(4) 公平性 (20点)	20	①サービスの対象範囲は適正ですか。 a. 不特定多数を対象としている。(5点)	5	点
		②サービスの水準は適正ですか。 a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点
(5) 持続可能性 (20点)	20	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができそうですか。 a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点
評価点合計 (100点満点)	94	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	水再生室	事務事業番号	00785
-----	------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>工事発注に際し、発注機関が行う設計積算は、国、府等の統一された基準によるため、十分な妥当性及び公平性が確保されている。有効性、効率性については、積算システム等の導入により、積算時間の大幅な短縮と併せて、正確性の確保にも大きく寄与している。積算システムは、建設3部(土木部、都市計画部、下水道部)にて一括導入しているが、継続して工事発注が必要であり、更新時等に都度、経済検討を行い効率的なシステムの維持に努める。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

下水道事業は平成29年度から地方公営企業法の一部(財務規定等)を適用し、企業会計に移行した。

事務事業評価調書

事務事業名	川園ポンプ場整備事業(下水道特別会計)				
担当部署	下水道部	室課名	水再生室	室課長名	井上 宏之

1 事務事業の概要

(1)	事業開始年度	不明	改正 内容	なし				
(2)	直近の改正	なし						
(3)	根拠法令等	下水道法、都市計画法						
(4)	市単独事業区分	<input type="checkbox"/> 全部		<input type="checkbox"/> 一部(上乗せ、横出し等あり)				
		<input checked="" type="checkbox"/> なし (国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)						
		一部にチェックした場合はその説明						
(5)	総合計画の体系	章 06	安全で魅力的なまちづくり	節 02				
				細節 70				
(6)	目 的	対象 (誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input checked="" type="checkbox"/> 建設事業	<input type="checkbox"/> その他		
			範囲等	川園ポンプ場で国土交通省の定めた標準耐用年数を経過し、機能劣化及び老朽化の著しい施設・設備				
		目標 (どういう状態にしたいのか)	設備の更新等による機能回復及び省エネルギー化を図る。					
		結果 (どのような効果が得られるのか)	川園ポンプ場の雨水排水及び汚水圧送機能の確保及び省エネルギー効果が得られる。					
(7)	事業概要	川園ポンプ場における施設・設備の建設及び改築更新 【平成29年度より企業会計に移行】						
(8)	H28事業別 予算コード	会計 03	款 01	項 02	目 01	大事業 06	中事業 01	小事業 01
(9)	事業費と 財源の内訳	項 目		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)		平成29年度 (2017年度)
				予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)
		事業費(A)		8,468	0	142,959	138,319	0
		人件費	職員数	2.00	0.00	2.50	2.50	0.00
			総額(B)	15,912	0	19,830	19,578	0
		総事業費(A+B)		24,380	0	162,789	157,897	0
		特定財源(C)		18,961	0	77,085	88,597	0
		(内訳)	国	3,000	0	57,000	66,950	0
			府	0	0	0	0	0
			その他	15,961	0	20,085	21,647	0
		市負担(D)		5,419	0	85,704	69,300	0
		(内訳)	地方債	5,400	0	85,700	69,300	0
			その他	19	0	4	0	0
			一般財源	0	0	0	0	0
財源計(C+D)		24,380	0	162,789	157,897	0		
(10)	実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施		委託先	①			
		<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	②					
			③					
				主な委託内容				
		<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①				
				②				
③								
<input type="checkbox"/> その他	内容							

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	平成29年度 (2017年度)
(1) 活動指標	①	社会資本総合整備計画の国土交通省の同意、国庫補助事業採択の内示を受け、交付金を活用した計画的な整備を図る。	目標値	(単位:件)	1.00	3.00	0.00
			実績値	(単位:件)	0.00	3.00	/
			達成度(%)		0.0	100.0	
	目標値の積算方法	当該年度発注予定本体外工事事件数を目標値とし、執行済工事事件数を実績値として算出	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	52,716.33	/
				一般財源(単位:千円)	0.00	0.00	
	(2) 成果指標	②		目標値	(単位:)	0.00	0.00
実績値				(単位:)	0.00	0.00	/
達成度(%)				0.0	0.0		
目標値の積算方法			単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00	/
				一般財源(単位:千円)	0.00	0.00	
(3) が困難な場合		①	社会資本総合整備計画の策定期間で、長寿命化計画に基づいた計画的な機器の改築更新を図る。	目標値	(単位:件)	4.00	4.00
	実績値			(単位:件)	0.00	1.00	/
	達成度(%)			0.0	25.0		
	目標値の積算方法	社会資本総合整備計画の策定期間に改築更新すべき機器の件数を目標値とし、改築更新済機器の件数を実績値として算出	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	158,149.00	/
				一般財源(単位:千円)	0.00	0.00	
	②		目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00
実績値			(単位:)	0.00	0.00	/	
達成度(%)			0.0	0.0			
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00	/	
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
①	活動内容				目標		
	②	成果内容				達成状況	
(4) 総合評価	今後の方向性 (実施計画)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定					
	評価の説明	<p>社会基盤の一部である下水道の根幹をなす事業であり、水質改善や悪臭など生活・環境問題における市民ニーズも高く、市民生活には必要不可欠で継続すべき事業である。現在も、施設・設備の老朽化が懸念されており、事業費の増加が見込まれることから、策定済の長寿命化計画に基づき、計画的・効率的・効果的な改築・更新を推進し、施設機能の確保及び経費の軽減を図る必要があり、施設の地震対策について準備を進めており、今後も継続する必要がある。</p> <p>なお、下水道事業は平成29年度から地方公営企業法の一部(財務規定等)を適用し、企業会計に移行した。これに伴う予算の再編等により、事務事業評価の継続性を確保できないため、平成29年度に係る記載欄については記載なしとしている。</p>					

事務事業分析シート

所属名	水再生室	事業名	川園ポンプ場整備事業(下水道特別会計)	事業区分	建設事業
事務事業番号	00786				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	20	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 a. 客観的なデータで市民ニーズが高いことを把握している。(5点)	5	点
(2) 有効性 (20点)	18	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
(3) 効率性 (20点)	18	①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 b. 迅速なサービス提供のための取組について検討している。(3点)	3	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 a. 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
(4) 公平性 (20点)	20	①サービスの対象範囲は適正ですか。 a. 不特定多数を対象としている。(5点)	5	点
		②サービスの水準は適正ですか。 a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点
(5) 持続可能性 (20点)	20	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができそうですか。 a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点
評価点合計 (100点満点)	96	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	水再生室	事務事業番号	00786
-----	------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input checked="" type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>妥当性及び公平性については、公共用水域の水質保全の観点から適正であり、有効性においても、排水基準を満たす放流水質を確保するために有効と考える。効率性については、関係部門とのさらなる連携を図ることで早期対応に努めている。持続可能性については、他市との事業規模が異なるため比較・分析が困難であるが、国の指針を基に積算業務等を遂行しており、全国的に見て平均的と考える。また、事業費については、施設・設備の老朽化問題が懸念されており、策定済の長寿命化計画に基く施設整備を行い、更新費用の平準化を図りながら事業を進めている。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関係する特記事項)

インフラ整備の老朽化問題に加え、近年の震災被害の状況などから、下水処理施設の地震対策について優先的な対策が求められている。なお、下水道事業は平成29年度から地方公営企業法の一部(財務規定等)を適用し、企業会計に移行した。

事務事業評価調書

事務事業名	下水道処理場高度処理整備事業(下水道特別会計)				
担当部署	下水道部	室課名	水再生室	室課長名	井上 宏之

1 事務事業の概要

(1) 事業開始年度	平成19年度	改正内容	なし				
(2) 直近の改正	なし						
(3) 根拠法令等	下水道法、都市計画法						
(4) 市単独事業区分	<input type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乗せ、横出し等あり)	<input checked="" type="checkbox"/> なし (国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)				
	一部にチェックした場合はその説明						
(5) 総合計画の体系	章 06	安全で魅力的なまちづくり	節 02	細節 70			
(6) 目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input checked="" type="checkbox"/> 建設事業	<input type="checkbox"/> その他		
	範囲等	下水処理場の水処理施設					
	目標 (どういう状態にしたいのか)	下水道法に基づく大阪湾流域別下水道整備総合計画に示される処理水質を達成し、窒素・りん等の排出負荷量を削減する					
結果 (どのような効果が得られるのか)	下水処理場から排出される汚濁負荷量が削減され、河川及び大阪湾の水質が向上する						
(7) 事業概要	下水処理場における高度処理施設への改造 【平成29年度より企業会計に移行】						
(8) H28事業別 予算コード	会計	款	項	目	大事業	中事業	小事業
(9) 事業費と 財源の内訳	項目		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)		平成29年度 (2017年度)
			予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)
	事業費(A)		0	0	0	0	0
	人件費	職員数	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		人					
	総額(B)		0	0	0	0	0
	総事業費(A+B)		0	0	0	0	0
	特定財源(C)		0	0	0	0	0
	(内訳)	国	0	0	0	0	0
		府	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
	市負担(D)		0	0	0	0	0
	(内訳)	地方債	0	0	0	0	0
その他		0	0	0	0	0	
一般財源		0	0	0	0	0	
財源計(C+D)		0	0	0	0	0	
(10) 実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施						
	<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①				
			②				
			③				
	主な委託内容						
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①					
		②					
		③					
<input type="checkbox"/> その他	内容						

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	平成29年度 (2017年度)
(1) 活動指標	①	社会資本総合整備計画の国土交通省の同意、国庫補助事業採択の内示を受け、交付金を活用した計画的な整備を図る	目標値	(単位:件)	0.00	0.00	/
			実績値	(単位:件)	0.00	0.00	
			達成度(%)		0.0	0.0	
	目標値の積算方法	当該年度発注予定本体外工事事件数を目標値とし、執行済工事事件数を実績値として算出	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00	
				一般財源(単位:千円)	0.00	0.00	
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	
実績値			(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)			0.0	0.0			
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
(2) 成果指標	①	下水道事業認可(平成26年度)に位置付けた高度処理能力の整備(目標年度:平成34年度)	目標値	(単位:%)	100.00	100.00	/
			実績値	(単位:%)	39.90	39.90	
			達成度(%)		39.9	39.9	
	目標値の積算方法	南吹田下水処理場における整備済高度処理能力(平成34年度目標達成能力:42,900m ³ /日)	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00	
				一般財源(単位:千円)	0.00	0.00	
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	
実績値			(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)			0.0	0.0			
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
(3) が困難な場合	①	活動内容			目標		
	②	成果内容			達成状況		
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定
	評価の説明		平成20年度に策定された上位計画である「大阪湾流域別下水道整備総合計画」の基本方針で、平成37年度までに流出負荷量目標値(放流水水質基準値)が定められた。その目標を達成するために既存設備の高度処理化を計画的に進めているところであり、継続が必要な事業と考える。また、事業費の平準化を図るため、平成37年度までの整備を目標として事業を進める必要がある。 なお、下水道事業は平成29年度から地方公営企業法の一部(財務規定等)を適用し、企業会計に移行した。これに伴う予算の再編等により、事務事業評価の継続性を確保できないため、平成29年度に係る記載欄については記載なしとしている。				

事務事業分析シート

所属名	水再生室	事業名	下水処理場高度処理整備事業(下水道特別会計)	事業区分	建設事業
事務事業番号	01322				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点
(1) 妥当性 (20点)	18		①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点) 5 点
			②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 b. 施策や政策課題の推進にとって、効果のある事業である。(3点) 3 点
			③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 a. 実施意義は今も増している。(5点) 5 点
			④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 a. 客観的なデータで市民ニーズが高いことを把握している。(5点) 5 点
(2) 有効性 (20点)	12		①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点) 3 点
			②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点) 5 点
			③事業は目標どおりに進捗していますか。 b. 目標を下回る進捗状況である。(3点) 3 点
			④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 c. 具体的な成果があまりない状況である。(1点) 1 点
(3) 効率性 (20点)	18		①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点) 5 点
			②迅速なサービスの提供に努めていますか。 b. 迅速なサービス提供のための取組について検討している。(3点) 3 点
			③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点) 5 点
			④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 a. 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている。(5点) 5 点
(4) 公平性 (20点)	18		①サービスの対象範囲は適正ですか。 a. 不特定多数を対象としている。(5点) 5 点
			②サービスの水準は適正ですか。 a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点) 5 点
			③適正な受益者負担を求めていますか。 b. 受益者負担を求めているが、見直しを検討する余地がある。(3点) 3 点
			④公平性を確保するための取組みをしていますか。 a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点) 5 点
(5) 持続可能性 (20点)	18		①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点) 5 点
			②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。 b. 事業費は増大するが、市負担は増大しない見込みである。(3点) 3 点
			③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点) 5 点
			④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができそうですか。 a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点) 5 点
評価点合計 (100点満点)	84		← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))

所属名	水再生室	事務事業番号	01322
-----	------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>上位計画に定められた放流水質の達成を目標とした事業であり、妥当性及び公平性は極めて高い。多額の事業費を要するため、下水道部全体事業費の平準化等にも留意の必要があるが、達成年限である平成37年度の事業完成を目指し、有効性、効率性についても更なる検討を進める。大阪湾流域の公共下水道全体にかかる総合計画であり、整備期間も長期に及ぶため、他市の動向や社会的情勢も視野に継続的な取り組みが必要である。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

大阪湾の水質環境基準を達成するため、下水道整備に関する総合的な基本計画として、平成20年度に「大阪湾流域別下水道整備総合計画」の基本方針が策定され、その基本方針の中で、許容流出負荷量の府県配分及び下水処理場の整備目標が設定された。大阪湾に係る下水処理場の整備目標(年間平均値)は次のとおりである。[COD:8mg/L、窒素:8mg/L、りん:0.8mg/L]
 なお、下水道事業は平成29年度から地方公営企業法の一部(財務規定等)を適用し、企業会計に移行した。

事務事業評価調書

事務事業名	南吹田下水処理場汚泥処理施設整備事業(下水道特別会計)				
担当部名	下水道部	室課名	水再生室	室課長名	井上 宏之

1 事務事業の概要

(1) 事業開始年度	平成13年度	改正内容	なし				
(2) 直近の改正	なし						
(3) 根拠法令等	下水道法、都市計画法						
(4) 市単独事業区分	<input type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乗せ、横出し等あり)	<input checked="" type="checkbox"/> なし (国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)				
	一部にチェックした場合はその説明						
(5) 総合計画の体系	章 06	安全で魅力的なまちづくり	節 02	細節 70			
(6) 目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input checked="" type="checkbox"/> 建設事業	<input type="checkbox"/> その他		
	範囲等	耐用年数を超過した南吹田下水処理場の汚泥処理施設					
	目標 (どういう状態にしたいのか)	汚泥処理、処分方式を見直し、循環型社会に対応した施設へと更新し、かつ処理コストの低減とCO2の削減を図る。					
	結果 (どのような効果が得られるのか)	処理機能の確保及び維持管理費とCO2の削減					
(7) 事業概要	汚泥焼却炉の廃止により、汚泥処理施設で発生する汚泥を循環型社会に対応した方式で処理・処分できる施設を建設する。 【平成29年度より企業会計に移行】						
(8) H28事業別 予算コード	会計	款	項	目	大事業	中事業	小事業
(9) 事業費と 財源の内訳	項目		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)		平成29年度 (2017年度)
			予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)
	事業費(A)		0	0	0	0	0
	人件費	職員数	人	0.00	0.00	0.00	0.00
		総額(B)	千円	0	0	0	0
	総事業費(A+B)		0	0	0	0	0
	特定財源(C)		0	0	0	0	0
	(内訳)	国		0	0	0	0
		府		0	0	0	0
		その他		0	0	0	0
	市負担(D)		0	0	0	0	0
	(内訳)	地方債		0	0	0	0
		その他		0	0	0	0
		一般財源		0	0	0	0
財源計(C+D)		0	0	0	0	0	
(10) (該当するものは全部チェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施						
	<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①				
			②				
			③				
	主な委託内容						
	<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①				
②							
③							
<input type="checkbox"/> その他	内容						

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	平成29年度 (2017年度)
(1) 活動指標	①	社会資本総合整備計画の国土交通省の同意、国庫補助事業採択の内示を受け、交付金を活用した計画的な整備を図る	目標値	(単位:件)	0.00	0.00	/
			実績値	(単位:件)	0.00	0.00	
			達成度(%)		0.0	0.0	
	目標値の積算方法	当該年度発注予定本体外工事件数を目標値とし、執行済工事件数を実績値として算出	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00	
				一般財源(単位:千円)	0.00	0.00	
			達成度(%)		0.0	0.0	
②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	/	
		実績値	(単位:)	0.00	0.00		
		達成度(%)		0.0	0.0		
	目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00		0.00
				一般財源(単位:千円)	0.00		0.00
			達成度(%)		0.0		0.0
(2) 成果指標	①	産業廃棄物として処分するものだけでなく、できるだけ有効利用し、環境保全に寄与するための有効利用率を設定	目標値	(単位:%)	100.00	100.00	/
			実績値	(単位:%)	100.00	100.00	
			達成度(%)		100.0	100.0	
	目標値の積算方法	下水汚泥資源有効利用率(有効利用量/汚泥発生量)	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00	
				一般財源(単位:千円)	0.00	0.00	
			達成度(%)		0.0	0.0	
②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	/	
		実績値	(単位:)	0.00	0.00		
		達成度(%)		0.0	0.0		
	目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00		0.00
				一般財源(単位:千円)	0.00		0.00
			達成度(%)		0.0		0.0
(3) が困難な場合	①	活動内容			目標		
	②	成果内容			達成状況		
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定
	評価の説明		<p>南吹田下水処理場の発生汚泥は、汚泥焼却炉廃止後、下水道資源有効利用の観点から、コンポスト化及びセメント化としているが、事業者が限定されており急激な価格変動や受入量の制限等、不安定要因が内在している。長期に渡る安定的な処理が必要であると共に、下水道資源としての有効活用についても社会的ニーズは高く、有効利用が図れる汚泥処理施設の建設を検討していく必要がある。</p> <p>なお、下水道事業は平成29年度から地方公営企業法の一部(財務規定等)を適用し、企業会計に移行した。これに伴う予算の再編等により、事務事業評価の継続性を確保できないため、平成29年度に係る記載欄については記載なしとしている。</p>				

事務事業分析シート

所属名	水再生室	事業名	南吹田下水処理場汚泥処理施設整備事業(下水道特別会計)	事業区分	建設事業
事務事業番号	01323				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点	
(1) 妥当性 (20点)	18	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 b. 施策や政策課題の推進にとって、効果のある事業である。(3点)	3点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 a. 実施意義は今も増している。(5点)	5点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 a. 客観的なデータで市民ニーズが高いことを把握している。(5点)	5点
(2) 有効性 (20点)	12	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 b. 目標を下回る進捗状況である。(3点)	3点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 c. 具体的な成果があまりない状況である。(1点)	1点
(3) 効率性 (20点)	16	①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 b. 迅速なサービス提供のための取組について検討している。(3点)	3点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3点
(4) 公平性 (20点)	20	①サービスの対象範囲は適正ですか。 a. 不特定多数を対象としている。(5点)	5点
		②サービスの水準は適正ですか。 a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5点
(5) 持続可能性 (20点)	18	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができそうですか。 b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3点
評価点合計 (100点満点)	84	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))	

所属名	水再生室	事務事業番号	01323
-----	------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>安定性、継続的な汚泥処理の確立と排出抑制、運搬による環境負荷の軽減、下水道資源の有効活用と事業成果は多岐に渡り、妥当性、公平性は高い。処理方法、エネルギー回収方法等、技術的選択肢が多いため、基本計画策定に際しては、他市事例や新技術等の情報収集を行い、有効性、効率性について検討を重ねることが必要と考える。巨額の事業費と併せて、運転管理、維持費等の継続的経費も含めたライフサイクルコスト全体について検討のうえ、積極的推進を図る必要がある</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

下水道事業は平成29年度から地方公営企業法の一部(財務規定等)を適用し、企業会計に移行した。